

# チャペル週報

またあなたがたは、  
わたしの名のゆえにすべての人に憎まれるであろう。  
しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

(マタイによる福音書 10:22 )



2009.10.19~10.23 No.18  
関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 10月19日(月) 神 津野玲央(神4)  
経 辻学(広島大学大学院教授)  
人 村上陽子(人間福祉学部准教授)  
短大 聖書物語「砂漠の中で」
- 
- 10月20日(火) ランバスチャペルアワー「人が生きるとのこと」瀧 和恵(法3)  
神 ランバスチャペルアワーに合流  
文 上ヶ原ハピタットによるチャペル  
社 樋口祥子(法4)  
法 音楽チャペル1 聖歌隊  
経 音楽チャペル バロックアンサンブル  
商 則定隆男(商学部教授)  
教 田淵結(宗教主事)  
総 今泉ゼミ海外授業体験 アメリカの教会 総合政策学部学生
- 
- 10月21日(水) 神 張仁恵(M1)  
社 宗教総部によるチャペル  
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
経 Andreas Rusterholz(文学部宗教主事)  
商 音楽チャペル(ゴスペルクワイア)  
人 駒木亮(奄美大島・名瀬教会牧師)  
理 「自由と解放の福音」小林昭雄(名誉教授)  
総 Lalita Pathela Meditation Corp.  
短大 キリスト教学科「教育実習を終えて」
- 
- 10月22日(木) 神 バロックアンサンブルによる音楽礼拝  
文 アンドレアス・ルスターホルツ(宗教主事)  
社 いのちを考える⑤ 荻野昌弘(社会学部教授)  
法 音楽チャペル2 聖歌隊  
経 Timothy Dale Boyle(宣教師)  
商 English Chapel Christian M. Hermansen(宣教師)  
総 本田盛(総合政策学部教授)  
短大 キリスト教教育週間「さあ、手をつないで」
- 
- 10月23日(金) 院 徳田真二(吉岡記念館事務室課長)  
神 David Wider(神学部教授)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)  
経 舟木讓(宗教主事)  
人 Els-Marie アンベッケン(人間福祉学部教授)  
教 教育学部1年生体験実習参加者によるレポート  
理 「進路変更」松木真一(宗教主事)
- 

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

10月23日(金) 同窓生を覚えて 花田 司

◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～ 於:宗教主事室

---

# キリスト教学校教育同盟事務職員夏期学校で感じたこと

林 智 義

毎年7月に開催されている事務職員夏期学校は、今年で53回目を迎えました。この夏期学校は、1899年に発令された文部省訓令12号（宗教教育を禁じる法令）に対するキリスト教主義各校の協力体制が契機となって誕生した「キリスト教学校教育同盟」が主催しているものです。夏期学校には全国の同盟加盟校から百数十名の職員が集まり、2泊3日の日程で、キリスト教学校で働く意義について他校の職員と意見を交わし、キリスト教学校職員としてのアイデンティティーについて考える研修機会としています。もちろん、関西学院からも、毎年若手職員数名が夏期学校に参加しています。私自身は5年前から事務職員夏期学校の実行委員を拝命し、昨年と今年は実行委員長をおおせつかり、貴重な経験をさせていただきました。

昨今、教育行政の変更、価値観の多様化、社会のフラット化、学校経営の財政問題など、教育現場を取り巻く状況は大きく変化しています。そのような環境変化の中、多くの国公私立学校はそれぞれの考えに基づき、特色のある学校経営・運営を行おうとしています。多くのキリスト教主義学校も然り、関西学院も然りです。経営的に見ると、他校は良き競争相手であって、切磋琢磨すべき存在ですから、「共に仲良し」ではすまない関係にあります。しかし、一方、現代社会が抱える様々な問題を考えるときに、それらに立ち向かっていく若い人物の育成に関わり、研究活動を通して社会貢献するという学校本来の目的に照らせば、勤める学校は異なっても夏期学校に集まった職員は同志であるとも思えました。

キリスト教学校には私立学校としての建学の精神があり、建学の精神をわかりやすく伝えるモットーを持つ学校も少なくありません。しかし、それらの言葉で示された建学の精神やモットーを、過去の創立者の言葉、あるいはお題目としてしか説明できない学校になってしまっているとすれば、その学校はかなり危機的といわざるを得ません。建学の精神をいかに現代社会に通用する形で社会に発信し、具体的な教育実践として積み重ねていくことができるかという重い課題を各校は負っているのです。その点において関西学院はどうか、今私が携わっている国際学部はどうかののだろうか、と自問しつつ、他校の同志たちと切磋琢磨していきたいと思われています。

（国際学部開設準備室）

### ●ビッグイシュー基金共同企画写真展&トークセッション

「写真が伝える路上生活 ―ストリートを生きる人びと―」  
人権教育研究室と、路上生活者の自立支援を目指す「ビッグイシュー基金」は共同企画として「写真展」とトークセッションを開催します。撮る側／撮られる側という従来の境界を越えたところに成立する独自の「写真」プロジェクトを通じて路上生活をめぐるリアリティについて考えます。

と き：

<写真展>10月19日(月)午後1時から10月23日(金)の午後5時まで  
20日(火)から22日(木)の3日間は午前9時から午後10時まで。

<トークセッション>10月23日(金)午後3時15分～6時30分

ところ：

<写真展>関西学院大学図書館エントランスホール (1階)

<トークセッション>関西学院大学図書館ホール (地階)

トーカー：佐野章二(ビッグイシュー代表)、高松英昭(写真家)、カメラマン=販売員  
ナビゲータ：阿部潔(関西学院大学)

主 催：関西学院大学人権教育研究室

### ●ランバスチャペルアワーのお知らせ

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。

と き：2009年10月20日(火)10:35～11:05

「人が生きるということ」

ところ：西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

### ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスではチャペルアワーを開催しています。

10月23日(金)アンドレアス・ルスターホルツ(文学部宗教主事)

10月30日(金)樋口 進(宗教センター宗教主事)

いずれも18:00～18:20

### ●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

### ●書籍刊行のご案内

『キリスト教平和学事典』(2009年9月25日刊行)

関西学院大学キリスト教と文化研究センター編、教文館

紛争、テロリズム、環境破壊、経済格差、差別問題、人権侵害、生命倫理問題——現代世界が直面する平和の諸問題をキリスト教の視点から分析し、キリスト者やキリスト教会が取り組むべき課題にどう対処していくかの理論と実践を解明。平和構築に向けた総合理解を試みる画期的な事典。全144項目、各界から86名の寄稿。

<特長>・キリスト教の視点による日本初の平和学事典。

- ・平和学研究・平和運動の第一人者を迎えた多彩な執筆陣。
- ・各テーマを掘り下げた大項目が中心で読み応えある記述。
- ・表・図版・写真など、ビジュアル資料約50点収録。
- ・付録に関連年表および人名索引・事項索引を掲載。

【A5判／448頁／定価8400円】 [ISBN 978-4-7642-4034-6 C3516]